

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市国際交流センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	国際交流センターは、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	国際交流センターを市民が快適に使用することのできる施設とする。
対象 ※誰、何に対して	加古川市国際交流センター
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	清掃・保守点検により施設内外を適切に管理し、必要に応じ施設の修繕を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	5,158千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	345千円
	一般財源	4,813千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	26国際交流費
細目	005国際交流事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	5,158千円	5,167千円	5,702千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	国際交流センターは、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点であり、大幅なコスト削減は難しく、現状維持と考える。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	国際交流補助事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川市の国際交流事業については、(公財)加古川市国際交流協会が加古川市と調整・協議を行いながら実施している。これまでの事業継続が市民・市内在住外国人に広く知られるところになっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の国際交流と国際理解を高めるとともに、外国諸都市の相互理解と友好親善を深める。また、外国人居住者の生活に関する問題解決を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び姉妹都市等外国人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公益財団法人加古川市国際交流協会に対し補助金を交付し、加古川市民と外国人との交流事業を実施する。補助対象は協会が実施する国際交流事業及び管理運営事業とする。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	4,787千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,787千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	26国際交流費
細目	005国際交流事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	4,787千円	6,737千円	6,562千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	姉妹都市等友好交流事業、国際理解に関する事業及び多文化共生社会の実現に関する事業は加古川市が主体となって実施すべき事業に位置づけるとともに、加古川市国際交流協会は市の施策を補完する組織として整理した。よって平成27年度以降の国際交流事業は補助金ではなく委託料として実施することに改めた。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	国際交流補助事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,043		
市内在住外国人	人	2,448		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
実施事業数	事業	31	35	31
活動指標分析結果	事業数は妥当と考える。より多くの市民が国際交流事業や多文化共生事業に参加できるよう事業の実施方法については調査研究する。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
事業参加人数	人	1,768	1,789	1,455	平成27年度	1,800
成果指標分析結果	より多くの市民が外国人との交流活動を通じて、異文化への理解を深めることができるよう、さらなる事業の展開が求められている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法

【事業概要】

現状と課題	文化活動振興にかかわる一般的な経費を必要最小限負担。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化的な市民生活の向上を図る。芸術文化団体や寄附申出者への情報提供やさらなる文化振興を促す手助けをする。
対象 ※誰、何に対して	市民、各種文化団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ロビーコンサート開催、文化振興のための寄附申出者への感謝状作成、東播磨文化団体連合のと調整業務など、文化振興のために必要な事務を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	468千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	468千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	468千円	168千円	218千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 文化振興に関する一般経費として必要最小限な内容であり、このまま維持していくべきと考える。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法、加古川市民会館条例、加古川市民会館条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	市民会館は、市民文化の向上と福祉の増進を目的として昭和48年にオープンした。平成21年度より指定管理者制度を導入し、民間活力によるより効果的な施設の管理運営を実施しているが、市民ニーズが多様化する中、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するとともに、集会・研修会をはじめとする諸会議等幅広く貸館業務を行う。なお、事業実施にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	83,214千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	537千円
	一般財源	82,677千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	13市民会館費
細目	005市民会館管理運営事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	83,214千円	75,866千円	106,704千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、平成25年9月から1年間改修工事を行ったが、工事に該当していない設備の老朽化が著しいため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						



加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川総合文化センターの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度を導入している。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供する貸館業務や、主に文化、考古、宇宙科学等にふれる機会として自主事業を行う。なお、管理運営にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	98,474千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,551千円
	一般財源	94,923千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	18総合文化センター費
細目	005総合文化センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	98,474千円	96,125千円	93,808千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、開館後相当年が経過しており、設備の老朽化が目立ってきたため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成6年度 ~ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立松風ギャラリーの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度の導入を行ったが、今後市民ニーズの多様化に対応するため、施設の管理方法について検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するために貸館業務を行う。また、芸術文化の振興を図るため自主事業を実施する。なお、管理運営については、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	16,311千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	16,311千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	005松風ギャラリー管理運営事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	16,311千円	13,745千円	13,712千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、指定管理者による管理運営がなされており、サービスの質が確保されている。今後、施設規模や貸館数も少ないことから、次期指定管理者制度の募集に合わせ、より地域の利用を促進するための管理方法について検討を行う。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和39年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法

【事業概要】

現状と課題	市の委託事業ではあるが、参加費無料の催しのため、各団体の費用持ち出しが多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	各文化団体に広く発表の機会を与えるとともに、市内各施設にて多種多様なジャンルのイベント等を開催することで、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	文化連盟加盟団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各種文化団体が所属する文化連盟に委託し「文化まつり」を開催する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	2,400千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,400千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	2,400千円	1,400千円	1,400千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	26年度は文化まつり50周年を迎え、市民会館リニューアル記念事業も合わせて実施した。27年度は、引き続き、市民に文化・芸術に身近にふれる機会を提供していく。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
文化連盟加盟団体数	団体	22	23	25

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
文化まつり参加団体	団体	20	20	21
活動指標分析結果	24年度は日本舞踊が文化まつりに参加した(3年に1度の参加)。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	16,986	15,599	17,852	平成27年度	18,000
成果指標分析結果	25年度は、市民会館の改修による会場変更のため減となった。文化まつり開催事業への参加者数は近年特に大きな変化はない。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和26年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成16年度から加古川市文化振興公社に、平成21年度から(公財)加古川市ウェルネス協会に委託して実施している。受託者は委託料と出品料で運営している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	美術愛好家の創作意欲の高揚や、入賞作品の鑑賞を通じて地域の芸術活動の振興となることを目的とする。また保育園・幼稚園児の豊かな感性を育て、創作活動の発表の場を提供する。
対象 ※誰、何に対して	美術愛好家、市内各幼稚園・保育園児
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市美術展(日本画・洋画・写真・書道・彫塑・工芸)、幼児画展を委託して開催する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	4,644千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,644千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	015美術展開催事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	4,644千円	4,670千円	4,290千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	美術展及び幼児画展とも、来場者数や出品数がここ近年一定の水準を維持しているため、引き続き芸術文化振興を図っていく。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,043	268,053	268,001

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
美術展開催日数	日	8	8	
幼児画展開催日数	日	3	3	
活動指標分析結果	美術展及び幼児画展とも、来場者数は直近4年間において一定の水準を維持している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
美術展観覧者数	人	3,396	3,858		平成27年度	4,000
幼児画展観覧者数	人	3,482	3,404		平成27年度	3,500
成果指標分析結果	美術展の出品点数は年々微増している。幼児画展の参加園はほぼ一定数ではあるが、出品点数は微減している。					



加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	四段、三段棋士という将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦という特徴がある。日本将棋連盟からは最低5年間は継続開催することを条件として公式棋戦を創設した経緯がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦を行うことにより、「棋士のまち加古川」を市のみならず全国に継続的に発信するとともに、将来のプロ棋士を育成できる土壌を育む。
対象 ※誰、何に対して	若手棋士及びイベント参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	四段、三段棋士を中心に、女流棋士及びアマチュア代表等を加えたトーナメント戦を実施する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	23,639千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,290千円
	一般財源	18,349千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	040加古川清流戦開催事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	23,639千円	23,802千円	23,168千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	公式棋戦(加古川清流戦)を通じて「棋士のまち加古川」を全国に発信し、芸術文化の振興を図ることができる当該事業の存在意義は大きい。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
加古川清流戦出場者	人	44	44	

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
日本将棋連盟契約金	円	15,000,000	15,000,000	
活動指標分析結果	今後もさらなる事業のPRに努め、参加者の増加を目指す。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
集客数	人	390	518		平成27年度	600
成果指標分析結果	26年度は決勝戦3番勝負のうち、2局しか行われなかった(24、25年度は3局)。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成25年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	日本将棋連盟が将棋普及に理解のある全国の自治体に呼びかけ、一同に会し交流及び情報交換を行なう目的を持ったサミットだが、初年度ということで15団体に留まった。27年度は第2回が開催される。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川清流戦開催事業と相乗し、「棋士のまち加古川」を市内外にPRし普及啓発を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	マスコミへのPR、パンフレットの配布、将棋文化振興自治体サミットへの参画、加古川将棋まっりの開催などを行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	1,830千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,830千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	045棋士のまちPR事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	1,830千円	1,830千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	公式棋戦(加古川清流戦)の開催とあわせ、「棋士のまち加古川」を全国に発信するとともに、全国の自治体と交流を図り、情報交換の機会が持てるのは有益である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,043	268,053	

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
棋士のまち加古川パンフレット発行部数	部	3,000	6,000	
加古川将棋まつりの開催	回	1	1	
活動指標分析結果	「棋士のまち加古川」を全国に発信するとともに、地域の将棋文化の振興を図った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
将棋サミット参加自治体	団体		15		平成27年度	20
成果指標分析結果	将棋サミットは26年度は開催されなかった。「棋士のまち加古川」を市内外にPRした。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	市民会館耐震化等改修事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成24年度～平成26年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	市民の安全・安心を確保するとともに、快適に利用してもらえるよう、必要最小限の改修を平成25年9月～平成26年8月に実施する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	延命化を図るとともに、利用者が安全に安心して快適に利用できる施設に位置づける。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民会館の耐震補強工事、防水改修、施設の一部バリアフリー化、設備改修を実施する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	360,259千円	
財源内訳	国庫支出金	2,489千円
	県支出金	千円
	地方債	345,900千円
	その他特財	千円
	一般財源	11,870千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	13市民会館費
細目	010市民会館耐震化等改修事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	360,259千円	189,070千円	6,983千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	事業完了。評価年度において目的を達成している。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	市民会館耐震化等改修事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
施設利用者数	人	118,098		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
市民会館改修事業費	円	360,258,020	189,069,484	
活動指標分析結果	平成24年度に設計を行い、平成25年度から平成26年度の期間、改修工事を行う。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
施設利用者数	人	118,098				
成果指標分析結果	設計委託の発注、改修事業を適正に実施した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化の更なる社会的認知がなされてきている。近年は、可能な限り他の補助金事業（緊急雇用就業機会創出事業）を活用して、同様の事業を振替えてきたが、補助金事業が終了したため、本来の事業規模に戻していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の文化財保護意識を高め、文化財の公開等活用を進めながら、次世代のために文化財を良好な状態で保存する。
対象 ※誰、何に対して	指定・登録文化財及び遺跡を中心とした文化財及び全市民が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	文化財保護行政に係る事務を適切に行うとともに、文化財講座の開催、文化財ニュースの発行、文化財説明板等の設置、文化財の情報提供等により文化財保護意識を高める事業を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	1,998 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	16 千円
	一般財源	1,982 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	1,998 千円	2,074 千円	2,085 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>文化財事務全般としては、体制の充実や予算の増加など抜本的な見直しが必要である。この事務事業に限れば、老朽化した文化財説明板等の整備、文化財の保存と活用、文化財に関する情報発信など、積み残しになっている多くの問題と課題を優先順位を定めて取り組んでいく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						



加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化のさらなる社会的認知がなされてきていると言える。また、里古墳及び平木橋等、新たに草刈等を行う必要のある管理すべき文化財が増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財を適切に管理する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市が管理する、本岡家住宅、史跡西条廃寺、西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)、日岡山古墳群(南大塚古墳、西大塚古墳等)、里古墳、平木橋等の建造物及び史跡等の文化財、及び全市民が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財について、草刈、清掃、建物の維持管理を行う。また必要に応じて見学者への対応を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	1,976千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,976千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	1,976千円	1,969千円	1,964千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 草刈をはじめ対象面積と頻度が十分でない状態であるが、経費を増やすことが難しいため、現状を基本に、現場の状況に応じた部分改善を行っていく必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	基本的には、時代によって変化するものではない。一部、この補助制度を活用しても所有者等に半額以上の負担があるため、所有者が不明となっている石造品等について、管理団体に指定されている町内会が経費負担しにくいものについての対応などの問題が出始めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	指定文化財を適切に保存管理することができ、また、公開されることで、文化財の保護と活用が進む。
対象 ※誰、何に対して	市内の指定文化財のうち、修理又は保存管理等文化財保護のため、所有者等の特別な負担があり、補助が必要な文化財が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	指定文化財の状況を把握し、所有者等からの申請を受けて、必要に応じて補助を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	464千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	464千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	464千円	320千円	2,151千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	保存管理内容や修理内容は、対象となる文化財の状況によってさまざまであり、個別に判断していく必要がある。平成26年度は修理事業が無かったため事業の規模は小さかった。今後、整備及び修理の計画があるため、計画に応じて適切に取り組んでいく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
指定文化財件数	件	117	116	114

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
文化財補助金申請件数	件数	4	4	6
文化財補助金申請額	千円	464	320	2,151
活動指標分析結果	指定文化財の保存管理及び修理に対する補助金申請の件数と総額を指標とすることで、この事業の活動の規模を確認できると考える。修理保存事業が多かった平成24年度の反動で、平成25年度及び26年度の補助事業が少なくなっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
文化財補助金事業実施件数	件	4	4	6	平成27年度	6
文化財補助金事業補助金交付額	千円	464	320	2,151	平成27年度	1,320
成果指標分析結果	保存管理及び修理の内容の詳細は数値化することに馴染まないため、補助金申請に基づいた実施件数と補助金交付額指標とすることで、この事業の成果の規模を確認できると考える。補助事業が少なかったこともあり計画どおり実施した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	加古川駅北区画整理事業や野口・坂元区画整理事業が進む中で、溝之口遺跡や坂元遺跡の中での開発に最優先に対応する必要があった。このため、他の遺跡や文化財の調査などが先送りにされ、また、現場作業に追われ、調査報告も十分に行われていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化財を、開発や不適切な行為による破壊、消失、損傷などから防ぎ、適切に保護するための調査事業である。
対象 ※誰、何に対して	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財、及び保護のための調査が必要なその他の文化財を対象とする。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為の前に確実に確認調査等を実施し保存に努める。その他の文化財については、保存のための調査が必要な場合に適切な調査を実施する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	2,804千円	
財源内訳	国庫支出金	1,000千円
	県支出金	500千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,304千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	005文化財調査事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	2,804千円	2,004千円	2,001千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	開発に伴う埋蔵文化財事務処理及び調査の件数が大きく増加している中、現在の体制では、緊急性の高い発掘調査の現場対応だけで手一杯の状況である。また、過去の発掘調査に伴う出土遺物整理や調査報告等の事務が積残しになっている。今後、道路建設事業やほ場整備事業に伴う大規模な発掘調査の計画があり、積残しの事務の解消と合わせ、文化財調査体制の整備・拡充が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
埋蔵文化財包蔵地件数	件	637	637	636
指定・登録文化財件数	件	154	153	151

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
文化財調査依頼等件数	件	207	65	33
活動指標分析結果	開発に伴う埋蔵文化財確認調査及び埋蔵文化財本発掘調査をはじめ、必要な埋蔵文化財の調査を中心に対応することを指標とする。その他の文化財については、現状では軽易なものしか行っていないが、今後、文化財保護のために必要な調査を実施する方向を考えている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
文化財調査実施件数	件	73	38	33	平成28年度	33
文化財調査報告件数	件	0	0	0	平成28年度	3
成果指標分析結果	必要な文化財調査を実施することを第一の成果指標とし、調査報告書の発行を第二の指標とするが、現場作業に追われ調査報告書の発行に至っていないところは課題である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	人塚古墳整備事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成17年度～平成28年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	文化財保護法

【事業概要】

現状と課題	平成7、8年の行者塚古墳の整備事業に先立つ調査で、わが国の古墳時代の研究のために極めて貴重な成果が多数あった。平成17年に事業が開始され、古墳の形状等を確認する調査を行うとともに、現状をできるだけ活かした方法で、園路整備などの事業を進めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)を整備することにより、史跡の保存と活用を図るため。
対象 ※誰、何に対して	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)のうち人塚古墳(山手2丁目)が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)の発掘調査成果を活用し、臨場感のある史跡整備を行う。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	9,191千円	
財源内訳	国庫支出金	4,000千円
	県支出金	2,000千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,191千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	015西条古墳群史跡整備事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	9,191千円	7,174千円	1,492千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	西条古墳史跡整備事業全体の中で、全体の85パーセントの進捗状況となる。平成28年度の事業完了に向けて引き続き史跡整備工事と報告書作成作業に取り組んでいく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	人塚古墳整備事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,043	268,390	268,110
国史跡西条古墳群のうち人塚古墳の面積	m <sup>2</sup>	9,123	9,123	9,123

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
西条古墳群史跡整備事業計画率	%	85	75	66
活動指標分析結果	西条古墳群史跡整備事業全体の中で、事業費ベースの計画目標の率を活動の指標とした。ほぼ計画どおりである。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
西条古墳群史跡整備事業実施率	%	85	75	66	平成28年度	100
成果指標分析結果	西条古墳群史跡整備事業全体の中で、事業費ベースの事業実施率を活動の指標とした。ほぼ計画どおり実施した。					